

設計仕様書

2024年6月12日

1 設計内容の概要

- 予めユーザが、エアコンを稼働し始める設定範囲と Remo3 から得られる情報を取得する時間の範囲と Remo3 のアプリのホームロケーションから得られる情報を設定し入力できるスプレッドシートの所定のセルを設ける。
- ユーザの iPhone の位置情報を取得するために、Xcode を用いて位置情報を取得し、スプレッドシートに記録しておく。また、ユーザーが予め設定した Remo3 の情報から位置情報を取得し、スプレッドシートに記録しておく。
- Remo3 を用いて温度・湿度の値をユーザが設定した時間おきに取得する。また、距離をユーザの iPhone の位置情報と Remo3 の位置情報を用いてスプレッドシート内の関数で計算し、温度・湿度とともにスプレッドシートに記録しておく。距離は次の式で求められる値を用いる。
- 距離がユーザが LINE で設定した範囲内に入った時 Remo3 が取得した気温に従って Remo3 を通じてエアコンを開発者が設定した温度で稼働させる。また、エアコンの設定温度は LINE でユーザが好む最適な温度に設定できる。
- エアコンの電源を入れたり設定を変更したりした際は同時にその時点の日時と設定温度、室内の温度・湿度を LINE で通知する。